

(第5号)

2014年8月15日

民権連通信

民主主義と人権を守る府民連合（民権連）

〒556-0024 大阪市浪速区塩草 2-2-31

TEL (06) 6568-2031 fax (06)6568-2047

「人権問題に関する意識調査」の中止を（松井知事に要望書提出）

8月6日民権連は松井一郎知事に来年度予定されている「人権問題に関する府民意識調査」の中止を求める要望書を提出しました。要望書は、「同和地区」「同和地区住民」の存在を前提した調査は府民の間に分断を持ち込み、「特別対策」継続の根拠づくりに使われると、調査を取りやめることを求めました。

大阪府知事 松井一郎様

2014年8月6日

民主主義と人権を守る府民連合

委員長 谷口 正暁

<要望事項>

2015年度に実施予定の「人権問題に関する府民意識調査」を中止すること。

<要望の趣旨>

- 1、これまでの設問の大半が「同和問題」であり、「人権問題」に関わる調査とは言えない。
- 2、「同和地区」「同和地区住民」の存在を前提にした調査は、府民の間に分断を持ち込む差別主義であり、部落問題解決（国民融合）を妨げるものである。
- 3、調査の狙いが府民の「差別意識」を掘り起こすことにある。なぜなら大阪府はこれまでそれらの「意識」が生まれた背景、要因について分析し、明らかにしたことは一度もない。
- 4、部落問題解決の今日の到達点を正しく伝えず、部落問題についての誤った理解、認識を府民の間に拡散、意識化させる。部落問題の解決を願ってきた府民の良心をないがしろにするものである。
- 5、調査結果をその後の施策にどのように生かしたかの具体的な説明を我々は一度も聞いたことはない。調査の狙いが上記で示したことにある何よりの証左である。
- 6、大阪府は「今後の人権施策に生かす」というが、この調査そのものが「特別対策」であり、「特別対策」の継続・永続化のための根拠づくりに使われてしまう。

以上の理由から「人権問題に関する府民意識調査」の中止を求める。

なお、11年11月8日に開かれた府同推審で「同和問題の解決に向けた実態把握」が提案され、「行政データを活用した実態把握」については報告されたものの、「国勢調査を活用した実態把握」との突合による分析結果が未だに出されていない。その理由を明らかにされたい。

「平成26年度 人権に関する市民意識調査 実施概要」(八尾市)

「人権についての市民意識調査」と「桂中学校区及び高美中学校区住民を対象とした意識調査」の二つの調査を平成26年10月に実施する予定となっています。前回2010年(平成22年)1月に実施した調査では、「同和地区住民」を抽出して調査票を送るという人権侵害を行い、市民から厳しい批判の声が上がりました。民権連もこの事実を知り、八尾市への抗議行動を展開、担当者は次回の時は検討したいと回答しています。今回の調査は、「同和地区住民」を「中学校区住民」と変えたものの本質は変わりません。なぜ「桂中学校と高美中学校校区住民」なのか。形を変えた「同和調査」そのものです。今回の調査について、解同一部幹部の利権あさりなど不正・腐敗、行政との癒着の温床となった「人権協会」との関わりはどうかなど詳細な資料を入手して今後の対応を検討していきます。

国の「同和特別法」は2002年3月末で終了し「同和地区」や「同和地区住民」は存在しません。民権連は、「八尾市同和終結市民会議」と共同して調査の中止を求める取り組みを進めます。

泉南市人権部と「人権啓発」について懇談

7月23日、民権連は泉南市人権部長との懇談を行いました。同和意識調査問題、人権施策推進の根拠、人権条例の運用、人権行政基本方針、人権協会の問題等、多岐にわたって懇談を行いました。また地元区長から出されている要望書についても協議しました。要望事項には、人権ふれあいセンターの解体又は閉鎖、市営住宅を区外で建設する、廃墟化した古い市営住宅は安全面などを考慮して解体する、などの切実な要望が出されています。

また市のホームページに載せられている内容が部落問題に対する市民の理解を歪めるので是正してほしい、老朽化した団地の建て替え計画が決まったことは評価しているなど、率直な話し合いとなりました。今後も意見交換を行っていくことを確認して懇談を終えました。

全国人権連第6回大会開かれる

7月26・27日東京都内において全国人権連6回大会が開かれ、全国の取り組みが交流されました。大阪からは北脇輝夫書記長が中原徹府教育長との懇談について報告しました。26日夜は、全国人権連結成10周年記念レセプションが開かれ、来賓の方々からの祝辞を頂き、全国の仲間の楽しい交流のひとつとなりました。

次期役員には大阪から谷口正暁(常任幹事)、坂東勝(幹事)、北脇輝夫(幹事)の3名が選出されました。

